

中間評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会 平成24年10月22日(月)

研究課題	生物利用型水質浄化システムの構築と応用に関する研究	
研究期間	平成23年度～25年度	
	評価項目	平均点
	研究の進捗状況	3.2
	研究内容の妥当性	3.0
	目的達成の可能性	3.0
	期待される研究成果	3.2
	研究継続の必要性	3.2
	総合評点	3.1
<p>本研究は、水草などの生物を投入することにより小規模閉鎖性水域の水質浄化システムの構築を目的としている。成長した水草は刈り取って肥料(緑肥)として利用することにより廃棄物が出ないため、環境負荷の小さい水質浄化法としての意義がある。しかしながら、水草についてはリンや窒素などの富栄養化物質を除去する能力は低く、現在までのところ有効な水質浄化法を探り当てているようには思えない。一方、隔離水界を用いた実験で、二枚貝と水草の組み合わせが試験池の水質浄化に有効である可能性が示されているので、最終年度は、この点に絞って再現性やメカニズムを検討して欲しい。</p>		